



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社ウエストホールディングス 上場取引所 東
コード番号 1407 URL <https://www.west-gr.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江頭 栄一郎
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 IR担当 (氏名) 勝又 伸生 (TEL) 03-6812-2501
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	19,915	34.6	2,913	92.8	2,568	110.7	1,864	77.1
2023年8月期第2四半期	14,801	△57.2	1,510	△44.4	1,219	△50.3	1,052	△37.6

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 1,925百万円(76.9%) 2023年8月期第2四半期 1,088百万円(△36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年8月期第2四半期	円 銭 45.84	円 銭 —
2023年8月期第2四半期	25.88	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年8月期第2四半期	百万円 123,602	百万円 31,104	% 25.2
2023年8月期	123,802	31,403	25.4

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 31,088百万円 2023年8月期 31,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,655	47.8	11,683	37.5	10,983	37.8	7,438	23.6	182.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期2Q	46,027,488株	2023年8月期	46,027,488株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	5,367,653株	2023年8月期	5,367,122株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期2Q	40,660,043株	2023年8月期2Q	40,663,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、それまでの新型コロナウイルス感染症の流行、世界的エネルギー価格の上昇、電力需給の逼迫、国内のエネルギー事情の混乱等が一段落したことに加え、世界的なインフレに伴い我が国でも賃金上昇を伴う緩やかなインフレの兆しが見受けられる等、景気は徐々に持ち直しの気配を示しつつあります。

一方で事業環境は、2020年10月の菅政権による、我が国が2050年までにカーボンニュートラルを目指す宣言、及び2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減する目標設定を契機とする、環境意識の大幅な高まりが一層加速しつつあり、自社消費電力の再生可能エネルギー調達へのシフトはRE100参加企業等の一部の大企業のみならず、サプライチェーンに関連する多くの企業にとっても、既に最重要課題と位置付けられています。2012年のFIT制度開始に伴い、安定投資対象として拡大してきた太陽光発電所をはじめとする再生可能エネルギー発電所は、環境問題の解決に向けた脱炭素化のための設備へと、大きくその位置付けを変え、再エネ発電所の取得ニーズ、グリーン電力の利用ニーズは日に日に膨らんでいる状況にあります。

このような状況の中、当社グループは2023年8月期より、再生可能エネルギーをとりまく環境変化に迅速に対応するため、事業構造の大幅な転換に舵をきりました。自家消費型産業用太陽光発電所請負事業と非FIT発電所開発販売事業を二本柱として経営資源を集中し、非FIT関連事業を大きく伸ばしていく内容であり、それぞれの事業の立ち上げに注力した昨年度に引き続き、今年度からは着実な施工能力拡大に取り組みつつ、本格的な成長に向けてスタートを切りました。また、将来に向けての取組みとして、大規模蓄電所の開発、次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」を使った施工体制の確立、陸上風力発電所事業の事業化等、新規事業へも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は19,915百万円（前年同四半期比34.6%増）、営業利益は2,913百万円（前年同四半期比92.8%増）、経常利益2,568百万円（前年同四半期比110.7%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益1,864百万円（前年同四半期比77.1%増）を計上いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は固定資産の未実現利益消去等調整前の金額であります。

① 再生可能エネルギー事業

産業用太陽光発電所請負事業におきましては、予定していた事業譲受に伴う請負工事売上計上が第3四半期以降にずれ込んだものの、施工能力の増強と収益性の安定化を目的とした産業用太陽光発電所のパッケージ化（ウエストサステナブルスタンダード）が利益率の改善に大きく寄与いたしました。非FIT発電所開発販売事業におきましては、前年度第4四半期における多数物件の引渡しの後工程としての事務処理負担の影響から一旦ペースダウンしたものの、前年同期比で317.2%増の約70億円の売上を計上し、施工件数も順調に増加しております。第2四半期までの売上高は計画比未達となったものの、引渡し前の完成物件は相応の件数が積み上がっており、通期計画に対しての案件ストックは十分な数が確保できる見込みです。建設コストの維持・削減に引き続き注力したことに加え、一件当たりの平均売上高も計画を上回って推移しており、利益面での貢献度も今後増加してまいります。

以上の結果、売上高は16,276百万円（前年同四半期比40.8%増）、営業利益1,900百万円（前年同四半期比163.2%増）となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのアライアンスによる情報を活用し、商業施設や工場・病院などのエネルギーを大量に消費する施設に対し省エネのトータルサービスを提供、特にお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。このウエストエスコ事業については、施工実績が増加することにより、LED照明は5年から7年、空調設備は10年から12年にわたり、将来の安定収入に繋がるストック事業であり、既存顧客へのクロスセルを含め注力してまいります。

以上の結果、売上高は886百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業利益209百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

③ 電力事業

グリーン電力卸売事業は立ち上げ期にあたりますが、今後グリーン電力調達源の非FIT発電所の開発件数が増加するに従い、取扱高も増加していく見込みです。自社売電事業におきましては、従来保有していた約58MWの発電所に加え、2022年8月より石川県穴水の60MWメガソーラー（36円FIT）が発電開始しており、安定収益の底上げが実現しております。

なお穴水発電所につきましては、2024年1月の能登半島地震により自営線の電柱が一部傾く等の影響を受けましたが、約2週間で復旧再稼働いたしております。

以上の結果、売上高は1,968百万円（前年同四半期比22.4%増）、営業利益477百万円（前年同四半期比84.0%増）となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラー発電所を中心に、安定した売電収入を得られることを目的として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。契約総容量は前期末1,076.4MWより当期末1,208.0MWと、着実に増加しております。当社グループの施工件数の増加に伴い、契約件数の一層の拡大が期待できます。

以上の結果、売上高は962百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益267百万円（前年同四半期比28.4%増）となりました。

⑤ その他

その他の売上高は0百万円（前年同四半期比17.4%減）、営業利益0百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比199百万円減少し123,602百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比99百万円増加し92,498百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比299百万円減少し31,104百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の減少の主な要因は、商品が1,497百万円及び未成工事支出金が1,279百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が4,290百万円及び未収入金が1,232百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債の増加の主な要因は、工事未払金が820百万円減少した一方、短期借入金が1,278百万円増加したことによるものであります。

純資産の減少は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,864百万円計上した一方、配当金の支払を2,236百万円計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の連結業績予想につきましては、2023年10月13日付「2023年8月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,150	41,860
売掛金	863	592
リース債権	5,564	5,407
完成工事未収入金	9,587	9,172
商品	11,998	13,495
販売用不動産	326	326
未成工事支出金	2,295	3,574
原材料及び貯蔵品	14	27
その他	7,382	7,475
貸倒引当金	△210	△183
流動資産合計	83,973	81,750
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	20,397	20,688
その他（純額）	10,443	11,460
有形固定資産合計	30,841	32,148
無形固定資産		
投資その他の資産	4,174	4,123
投資有価証券	1,209	1,376
長期貸付金	225	487
繰延税金資産	1,414	1,394
その他	2,071	2,426
貸倒引当金	△108	△104
投資その他の資産合計	4,812	5,580
固定資産合計	39,828	41,852
資産合計	123,802	123,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644	851
工事未払金	3,039	2,218
1年内償還予定の社債	140	140
短期借入金	17,866	19,145
未払法人税等	319	755
完成工事補償引当金	176	165
その他	8,695	8,099
流動負債合計	30,882	31,375
固定負債		
社債	170	100
長期借入金	60,078	59,769
資産除去債務	962	960
繰延税金負債	0	0
その他	305	293
固定負債合計	61,516	61,123
負債合計	92,399	92,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020	2,020
資本剰余金	756	770
利益剰余金	31,830	31,457
自己株式	△3,270	△3,272
株主資本合計	31,337	30,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	95
為替換算調整勘定	1	17
その他の包括利益累計額合計	50	112
非支配株主持分	15	15
純資産合計	31,403	31,104
負債純資産合計	123,802	123,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	14,801	19,915
売上原価	10,065	13,274
売上総利益	4,735	6,640
販売費及び一般管理費	3,224	3,727
営業利益	1,510	2,913
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	7	9
還付加算金	2	6
受取保険金	5	—
その他	7	8
営業外収益合計	23	27
営業外費用		
支払利息	305	358
支払手数料	3	3
為替差損	0	10
その他	6	0
営業外費用合計	315	372
経常利益	1,219	2,568
特別利益		
電力事業撤退損失引当金戻入額	263	—
特別利益合計	263	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2
特別損失合計	—	2
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	1,483	2,566
匿名組合損益分配額	14	11
税金等調整前四半期純利益	1,468	2,555
法人税等	415	691
四半期純利益	1,052	1,864
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,052	1,864

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	1,052	1,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	46
為替換算調整勘定	0	15
その他の包括利益合計	36	61
四半期包括利益	1,088	1,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,088	1,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,468	2,555
減価償却費	1,044	1,110
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	△30
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△9	△11
電力事業撤退損失引当金の増減額 (△は減少)	△399	—
受取利息及び受取配当金	△8	△13
支払利息	305	358
売上債権の増減額 (△は増加)	7,603	898
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,346	△2,813
前渡金の増減額 (△は増加)	△198	△735
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,673	△655
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	962	77
未収入金の増減額 (△は増加)	1,856	644
未払金の増減額 (△は減少)	△55	59
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△174	△938
前受金の増減額 (△は減少)	58	386
預り金の増減額 (△は減少)	36	△76
その他	△659	△895
小計	8,771	△80
利息及び配当金の受取額	9	13
利息の支払額	△335	△358
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,351	293
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,092	△132

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△280	△100
有形固定資産の取得による支出	△1,268	△2,047
無形固定資産の取得による支出	△1	△4
敷金及び保証金の回収による収入	9	1
敷金及び保証金の差入による支出	△2	△17
長期貸付金の回収による収入	2	2
長期貸付けによる支出	△44	△374
その他	△177	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,763	△2,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	693
長期借入れによる収入	15,276	8,673
長期借入金の返済による支出	△8,688	△8,728
社債の償還による支出	△70	△70
自己株式の取得による支出	△9	△1
配当金の支払額	△2,234	△2,234
その他	△9	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,264	△1,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,609	△4,290
現金及び現金同等物の期首残高	27,709	46,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,318	41,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
メガソーラー (再生・開発)	311	—	—	—	311	—	311	—	311
産業用太陽光発電	9,391	—	—	—	9,391	—	9,391	—	9,391
非FIT発電所 (WEST FIT)	1,669	—	—	—	1,669	—	1,669	—	1,669
エスコ	—	7	—	—	7	—	7	—	7
電力卸売	—	—	160	—	160	—	160	—	160
自社売電	—	—	1,446	—	1,446	—	1,446	—	1,446
総合管理・保守	—	—	—	718	718	—	718	—	718
その他	—	—	—	—	—	0	0	—	0
顧客との契約から 生じる収益	11,372	7	1,607	718	13,706	0	13,707	—	13,707
その他の収益	181	913	—	—	1,094	—	1,094	—	1,094
外部顧客への売上高	11,553	921	1,607	718	14,800	0	14,801	—	14,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	0	148	152	—	152	△152	—
計	11,557	921	1,608	866	14,953	0	14,953	△152	14,801
セグメント利益	722	250	259	208	1,440	0	1,440	70	1,510

(注) 1. セグメント利益の調整額70百万円には、固定資産の未実現利益消去65百万円、本社費用の配賦差額4百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	再生可能 エネルギー 事業	省エネ エネルギー 事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
メガソーラー (再生・開発)	140	—	—	—	140	—	140	—	140
産業用太陽光発電	8,858	—	—	—	8,858	—	8,858	—	8,858
非FIT発電所 (WEST FIT)	6,965	—	—	—	6,965	—	6,965	—	6,965
エスコ	—	96	—	—	96	—	96	—	96
電力卸売	—	—	339	—	339	—	339	—	339
自社売電	—	—	1,629	—	1,629	—	1,629	—	1,629
総合管理・保守	—	—	—	788	788	—	788	—	788
その他	—	—	—	—	—	0	0	—	0
顧客との契約から 生じる収益	15,963	96	1,968	788	18,817	0	18,818	—	18,818
その他の収益	307	790	—	—	1,097	—	1,097	—	1,097
外部顧客への売上高	16,270	886	1,968	788	19,914	0	19,915	—	19,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	173	179	—	179	△179	—
計	16,276	886	1,968	962	20,094	0	20,095	△179	19,915
セグメント利益	1,900	209	477	267	2,854	0	2,854	58	2,913

(注) 1. セグメント利益の調整額58百万円には、固定資産の未実現利益消去65百万円、本社費用の配賦差額△7百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。